

2021年6月11日

宛先：辻恭子代理人 弁護士 谷 直樹 様  
写し：弁護士 岩永 隆之 様

松山市道後湯之町4番12号  
ロイヤル道後503号  
西山 紀男

件名：母 西山キミエの急変

### 【1】 キミエへの終末期医療摘要の確認

今週初め、6月7日 12時、かいごの花みずき代表取締役 清川伸子氏から電話があり、次の説明と確認があった。

キミエさんは、1か月弱の頃から寝ている状態。食事は口から採っていた。

1週間弱前から口から食べられなくなっている。

点滴で水分を補給しているが、腕が固くなり、点滴が出来難い状態になっている。

医師から胃ろうを実施するかどうかを確認するよう求められている。

私は、胃ろうの現場を知っている。対象者は苦痛を受けるのみで、長くは期待できない。

「止めて欲しい」と答えた。

清川氏は、キミエさんは104歳の長寿、大往生です、とのことだった。

同日、16時20分、かいごの花みずき施設長 清川氏(代表取締役の長男の妻)に電話して、死亡時からの手続きを確認した。

- ① 現時点、見取りの段階に入っている。  
花みずきで見取る。
- ② 「死亡診断書」は岩永医師に記入していただく。
- ③ 「死亡診断書」は、葬儀社に引き渡す。

その後、岩永看護師や立野ケアマネジャーに電話して、キミエの状況を常に確認し、帰崎のタイミングをみている。

### 【2】 キミエの法名を長延寺に依頼

法名をお願いする時、キミエに「院号」を付けたく無かった。

何故ならば、キミエは長男を裏切り、虚偽の説明をしていた。

また、本年3月の後見等事務報告書によると、キミエには300万円の残高しか残っていない。

これは、辻恭子の生活費(水、電気)、車代、等で費消されてしまっていた。

「信女」しか付けられなかった紀男の心痛を察してください。

この大役は、敬子さんがお寺に出向いて務めてくれた。(添付資料—1)

6月11日、長延寺の坊守さんから、今朝出来上がりました、との応答を得た。

法名は「釋眞恵信女」となりました。

### 【3】 キミエの葬儀について

葬儀の喪主は、紀男が務める。

辻恭子は、今でも喪主をしたいと思っているのか？

西山家の葬儀なので、辻恭子が口出しすることは許さない。

平安社の営業担当、筑紫氏、と葬儀の打合わせを開始しています。

この方は、弟 紘二の時の担当で、西山家の事情を良く分かっています。

コロナ禍の葬儀なので、行政からの指導もあって、通常の葬儀と違います。

すべて、葬儀社の指導に従います。

火葬場には 10 人以下、とのこと。 辻家からは何人出席か？お知らせ願います。

火葬後の会食は、感染防止対策をとった会食となります。

現在は、お弁当を配布して持ち帰る方式を選ぶ人が多いです。

西山としては、お弁当方式を選びたい。 ご賛同いただけますか？

紘二の葬儀の折、辻夫妻は、「線香を絶やしたくない」との理由で葬儀場に 3.5 泊しました。

筑紫さんによると、消防法で、夜間は、ロウソク、線香の火は消すこと、となっています。

紘二の時のような無銭飲食、無銭宿泊は、禁じます。

葬儀の日取りが決まったら、即刻知らせます。

死に装束を準備している場合は、遺体を搬出する前に、花みずきに預けておいてください。

花みずきと平安社には伝えておきます。

以上、葬儀の概略を記述しました。

### 【4】 西山キミエの口座から辻が費消した金額を至急返却すること

長男 紀男に 300 万円の現金しか残していない。

これでは、キミエの法要に関する葬儀、納骨、四十九日法要、初盆、3回忌法要、相続の手続きに関する費用、等々賄えない。

納骨には石材屋を呼んで納骨し、墓誌に彫刻をしなくてはいけない。

相続の手続きに関しては、エネルギー、時間、費用がかかる。

長男には、目に見えない務めがある。

世間一般を見回しても、長男に 300 万円しか残していない親は、見たことも聞いたことも無い、と美年子はびっくりしている。

敬子さんにも、有馬さんにも恥かしいことだ。

西山留太郎・キミエは、近所付き合い、親戚付き合い、友達付き合いが少なく、狭い世界に住んでいた

ので、辻恭子も世間一般の常識に欠けている部分があるのではないか？  
長男の立場を思い遣って、至急、水代と電気代を返却すること。  
自分の飲み水代金を払わない辻俊雄は男として自立して無い！

令和元年(2019年)12月2日のFAX「宅急便の受取のお知らせとお願い」が到着して以来、  
交流が途絶え、電話にも出ない状態が続いている。

81歳を過ぎて、辻恭子の私利私欲のため交流の無い兄弟で、母の葬式を迎えるのは誠に残念  
至極である。

以上、

添付資料—1 長延寺に法名を依頼.pdf

この文書は、辻竜也、西山円にも送ります。